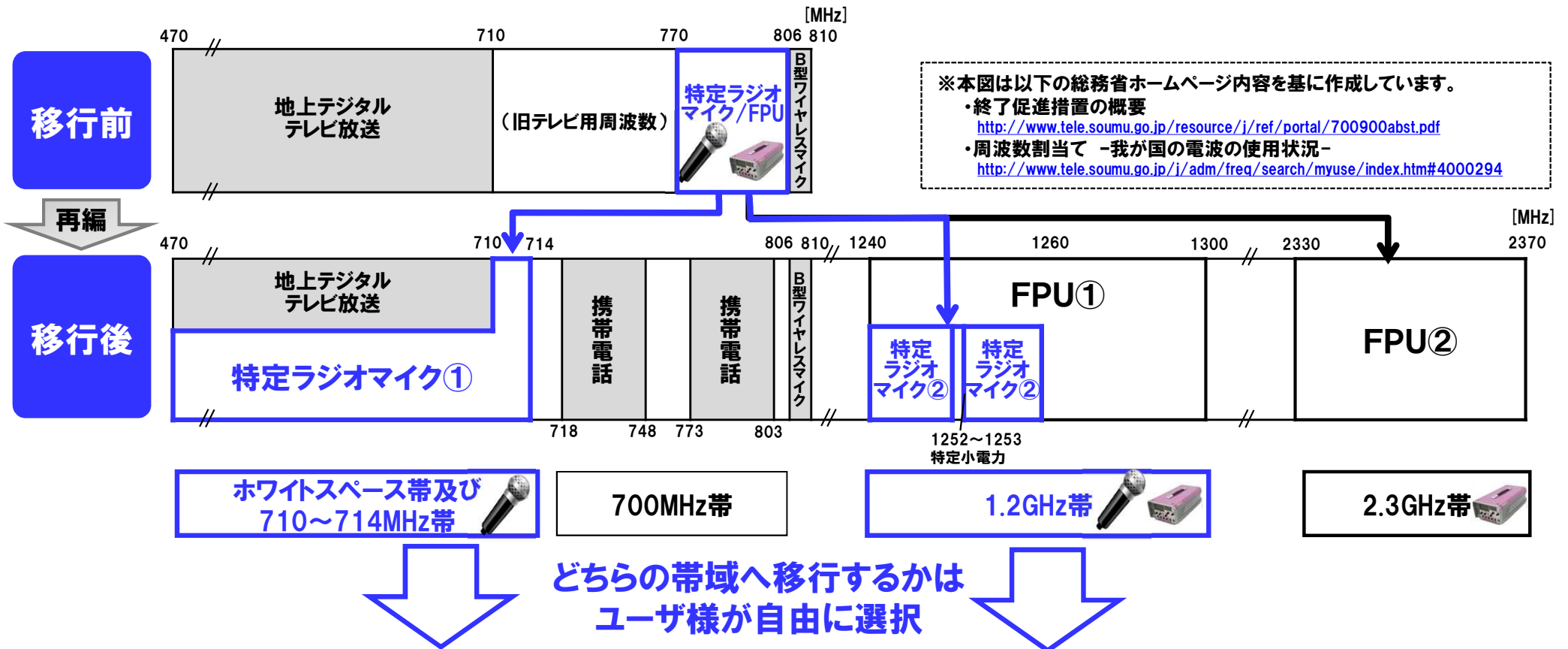


# 周波数移行の概要



	ホワイトスペース帯および710-714MHz帯	1.2GHz帯
周波数	470~710MHz(WS帯)、710~714MHz	1240~1260MHz(1252~1253MHzを除く)
利用可能場所	地デジに混信影響を与えない場所 (=総務省が公表する「特定ラジオマイクチャンネルリスト」に掲載のある場所のみ利用可能) ※711~714MHz帯は日本全国どこでも利用可能	日本全国どこでも
参入メーカー	シュア、ゼンハイザー、ソニー、バイヤーダイナミック レクトロソニクス、マイプロ	パナソニック、ソニー

# 周波数移行のお願い

免許人の皆様には2015年3月31日までの  
周波数移行をお願いしております。

2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
				2019年3月31日△ 免許の使用期限	
		△2015年3月31日 終了促進措置 完了目標			

円滑な周波数移行に向けて、様々な取り組みを行っております。

1. テスト機器のお試しキャンペーン・・・新機器の音質・電波の飛び等をご確認頂けます。
2. テスト経費の一部キャッシュバック・・・テストに要した経費の一部を負担します。
3. 充電機プラスワンキャンペーン・・・予備の専用充電機をプラス1個追加で差し上げます。
4. 電波利用料相当額(1年分)を当協会が負担・・・新機器免許の初回支払い分(1年分)を負担。

→詳しくは当協会ホームページをご覧ください。( <http://www.700afp.jp/microphone.html> )

# 費用負担の範囲

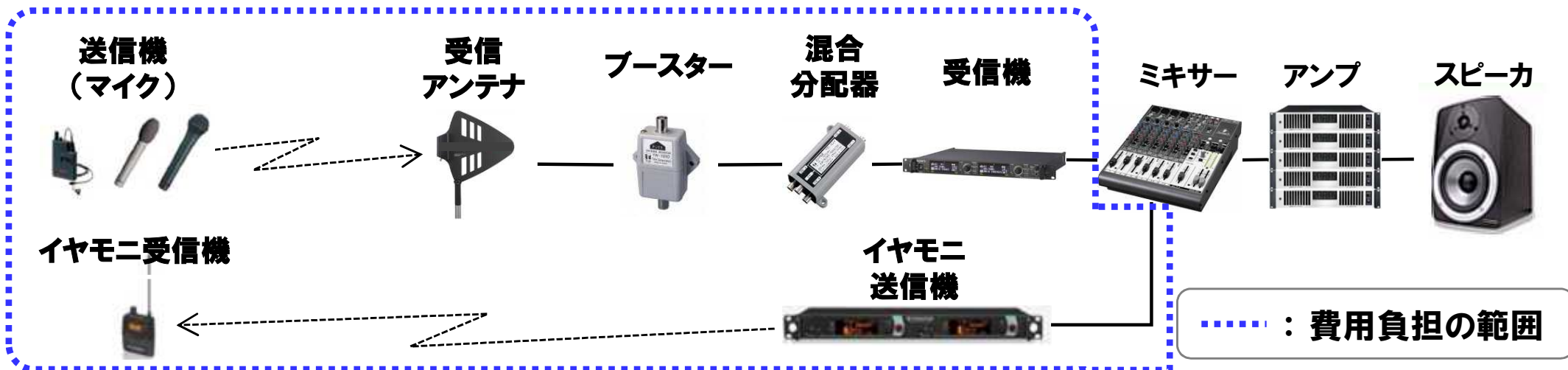
1.  
**無線設備の  
取得費用**  
(無線設備・附属設備)

2.  
**無線設備の  
工事費**  
(設置・撤去・産廃)

3.  
**免許申請等  
手続き費用**

同等の運用を確保して頂けるようご希望の機種にてご相談を承ります。

## 【費用負担の範囲イメージ図】



詳細な費用負担の範囲は、免許人様とご相談の上決定致します。

※ 新機器導入後も、引き続きご利用頂けるインターフェース可能な機器は、負担の対象外となります。

# ご利用可能なテスト機器一覧

本日テスト会でご覧になられた新周波数対応の特定ラジオマイクをお試し頂けます。  
ご利用は当協会担当者(取次会社)までご連絡ください。

周波数帯	メーカー名	方式	ご利用可能な機種 (2014年2月3日現在)	ステータス ○ = ご利用可能
TVホワイトスペース帯 および 710~714MHz	シュア	アナログ	AXTシリーズ	○
			UHF-Rシリーズ	2014年3月予定
		デジタル	ULX-Dシリーズ	2014年3月予定
	ゼンハイザー	アナログ	5000シリーズ	○
			2000シリーズ	2014年4月予定
		デジタル	D9000シリーズ	○
	SONY	デジタル	DWXシリーズ	○
	マイプロ	アナログ	MI-808(イヤモニ)	2014年3月予定
	レクトロソニックス	アナログ	HH/SMシリーズ	2014年4月予定
バイヤーダイナミック	デジタル	TG1000シリーズ	○	
1.2GHz帯	パナソニック	デジタル	DWMシリーズ	○
	SONY	デジタル	DWXシリーズ	2014年3月予定

※ご利用可能機種は、変更となる場合があります。

# ホワイトスペースチャンネル検討サービスのご紹介

免許人様に代わりまして、TVホワイトスペース混信保護の検討を行い、運用可能なWS帯チャンネルを算出し、周波数移行に合わせて、チャンネルリストの追加手続きを行います。

## ●対象免許人様

固定型・可搬型運用でWS帯への移行をご検討される免許人様

## ●対象施設

2012年4月1日以降に運用実績のある施設や場所(免許人様の運用実績に応じて、お申込み頂きます)

※可搬型・移動型運用かつ同時運用チャンネル数が5CH以下の場所・施設については、全国共通周波数帯711-714MHzを利用可能なため、本サービスの対象外とさせて頂いております。(共同運用を除く)

※既に申込みがあり、検討対象となっている施設を当協会HPに掲載しております。「申込済」施設はお申込不要となりますので、参考にご確認ください。(URL:<http://www.700afp.jp/microphone.html>)

## ●お申し込み条件

「終了促進措置の実施に関する基本合意書」のご締結

## ●お申し込み方法

免許人様毎に担当者からご案内しております。専用の申込用紙にてお申込みをお願い致します。お申込み頂いた順に実施する事となりますので、お申込みはお早めをお願い致します。

## ●その他

なお、本検討に際して、劇場建物の写真撮影及び、建物内での電波測定が必要になる場合がありますので、ご協力をお願い致します。

# ホワイトスペースチャンネル検討サービスの実施状況

## 【特定ラジオマイク ホワイトスペースチャンネルリスト】

2013年			2014年		
4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月

総務省 実施分  
(1,201ヶ所)

▲5/31

総務省公開①: 累計648ヶ所



▲11/14

総務省公開②: 累計1,201ヶ所

Phase 1

▲1/22

総務省へ追加申請済①: 1,035ヶ所程度

Phase 2

△2/下旬

総務省へ追加申請予定②: 1,165ヶ所程度

Phase 3

△3/下旬

総務省へ追加申請予定③: 800ヶ所程度

**2014年春頃までに3,000ヶ所程度 総務省へ追加申請予定**

700MHz協会  
実施状況